熊谷市
記者クラブ取材情報

令和4年10月28日発表
担当課:熊谷市教育委員会
社会教育課

タイトル

令和4年度　熊谷市文化功労者・教育関係職員表彰式

1. 日時　令和４年１１月３日（木・祝日）　１０時００分　開式

2. 場所　熊谷市立大里生涯学習センター　あすねっと

3. 事業概要

＜事業内容＞
【式典】
・文化功労者３名　小池　　博　氏（文化　８３歳）
　田島　初男　氏（学校教育・社会教育　７６歳）
　中田　　迪　氏（文化　８５歳）

・教育関係職員表彰者１７名（学校教職員１０名、学校医７名）

＜目的＞
・文化功労者：教育・学術・文化・体育の振興について特に功績が顕著である方を表彰する。
・教育関係職員表彰：熊谷市内在勤１５年以上で勤務成績が良好である者を表彰する。

＜影響・効果＞
文化芸術及び教育活動を行っている方々の励みになり、各分野の振興に資することになる。

4. 特徴やPRポイント

5. その他

＜主催者＞
熊谷市教育委員会
代表者　野原　晃
＜連絡先＞
０４８－５２４－１１１１　内線（３９４）

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）

担当者　熊谷市教育委員会社会教育課　後上
連絡先　ＴＥＬ　０４８－５２４－１１１１内線（３９４）shakaikyoiku@city.kumagaya.lg.jp□



熊谷市文化功労者

小池（こいけ）　博（ひろし）　氏　（８３歳）

熊谷市久保島

氏は、市教育委員会の親子実験観察会「ウィークエンドサイエンス」の立ち上げ当初から２１年の長きにわたり、ボランティアメンバーの中心として熊谷の自然観察を指導し、市内小中学生親子の自然や科学に対する関心を高める活動をけん引するとともに、子ども広報誌『くまがやキッズ』の「熊谷の自然」を執筆し、郷土熊谷の理解推進に熱心に取り組まれています。

また、熊谷歴史探訪会、熊谷市郷土文化会の要職を務め、地域の伝統文化の指導者として、「むさし熊谷史跡・名所ガイド」のボランティア活動に尽力されています。熊谷市文化連合では、市民の側に出向き文化芸術に触れる機会を提供する「文化の出前事業」において、講話やガイドを行い文化的な社会づくり及び郷土の伝統文化の振興に大いに貢献されました。

さらに、環境保護団体「別府沼を考える会」の幹事として環境浄化と生物保護に寄与されています。長年役員を務めた自治会では、盆踊りの再興及び曼殊沙華の里祭などの地域活動に、郷土の伝統文化をいかし、住民が共に協働する活動を展開し、明るい地域社会づくりにも貢献されました。

このように児童、生徒、地域住民及び市民のため、郷土愛と誇りを育む様々な活動を通して、伝統文化の発掘や発展に大きく貢献された功績は誠に顕著であります。



熊谷市文化功労者

田島初男（たじまはつお）氏（７６歳）

熊谷市妻沼

氏は、３８年にわたり小・中学校の教育者として、一貫して人権教育に情熱を傾け、人権教育の発展に大きく貢献されました。同和教育主任を歴任し、その先行的な実践例は「同和問題と同和教育資料」に掲載され、県内同和教育の模範となりました。昭和６１年から９年間指導主事として、学校、公民館、企業等において同和教育研修会を開催し、啓発を図るとともに、県下市町村との連携を図り、広域的な同和教育の推進に努められました。埼玉県同和対策課の指導資料の編集委員長を務めたほか、県教育局指導部同和教育課主幹及び同課長として、県同和教育行政の充実にも力を尽くされました。

また、校長職の優れた指導力、学校経営に対する手腕が認められ団長を務めた文部省海外派遣では、日本の学校教育担当者として海外の教育事情を広めるなど国際化教育の発展に寄与されました。

さらに、退職後も、大学で教鞭をとるとともに、本市社会教育委員会議委員長、人権教育推進協議会会長として、人権教育・社会教育の分野で豊かな経験と識見をいかし、人権啓発及び人権擁護活動の推進に貢献されました。

このように、氏が卓越した指導力により、長く熊谷市・埼玉県の教育及び人権教育の発展充実に貢献された功績は誠に顕著であります。



熊谷市文化功労者

中田（なかだ）　迪（すすむ）　氏　（８５歳）

熊谷市中奈良

氏は、高い写真技術をいかし、後進の育成に大いに尽力されました。熊谷図書館写真クラブ講師として、グループ活動の育成と写真技術向上に努められ、奈良公民館写真クラブを設立し、事務局兼アドバイザーとして、会員の知識と技能の向上を積極的に支援されました。

また、熊谷市美術家協会の要職を歴任し、同協会公募熊谷市美術展・会員作品展を開催して会員相互の知識や技能の向上に努められたほか、熊谷市勤労者文化展、熊谷市にて開催された県北美術展の運営に携わり、熊谷市を中心とする地域の美術・文化の振興のため大いに活躍されました。

さらに、熊谷市郷土文化会編集委員として、郷土文化会誌の表紙写真を１８年間担当されました。

昭和６１年には、写真技術が認められ、熊谷市美術展では写真部門最優秀作品に贈られる埼玉県知事賞を受賞、平成８年には現代美術協会展において会員模範作品として会員奨励賞を受賞されるなど高い評価を得られました。

このように、写真を通して広く郷土文化や美術の振興、発展に尽力された氏の功績は誠に顕著であります。